

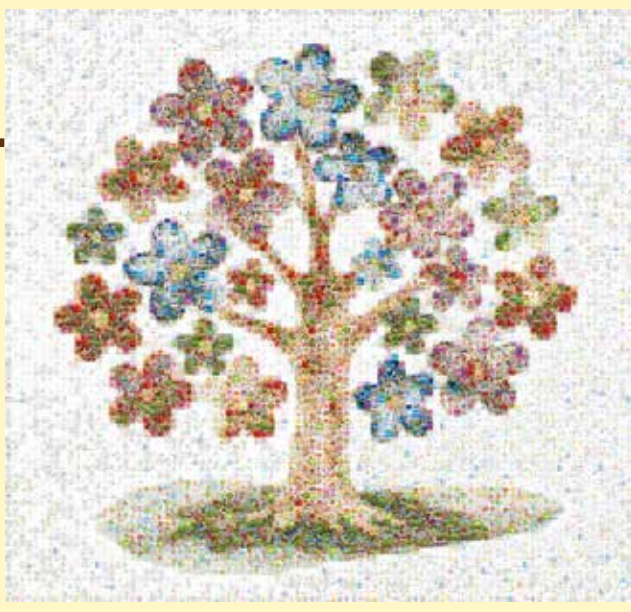
平和のカンパ

終戦80年！
これからも
平和を
願う

2025年、終戦80年を迎えました。終戦90年、100年といつまでも「平和な世界」が続くことを願い、多くの人が改めて「平和」について考える時間を作りました。

ピースをつなぐ モザイクアートプロジェクト

大切な人や物に対する思いをメッセージに込めて、イラストや写真をお寄せいただきました。300点以上の作品をつなぎあわせて、「平和をつなぐモザイクアート」を作成。「平和」のイベントや学習会で活用していきます。



平和映画上映会

8月だけでなく1年を通して「平和」について考えてほしい。という思いで「平和企画の会」メンバーの有志が集まって実行委員会を発足。今だから見てほしい映画を選び、それぞれの地区で開催しました。当日の、司会や運営など多くの人に協力していただき、500人を超える方に参加していただき、「平和」を考える機会になりました。



映画には多くの参加者が集まりました

開催日	会場	映画	参加者
7月26日(土)	レバンテホール	えっちゃんのせんそう	56人
		ラーゲリより愛をこめて	102人
9月6日(土)	西区文化ホール(なでしこ)	オッペンハイマー	113人
10月18日(土)	コープ柏原(旧カルチャーホール)	この世界の片隅に	38人
11月29日(土)	宝塚ソリオホール	荒野に希望の灯をともし	186人
1月31日(土)	ふれあい広場コレルせいぶん(生活文化センター)	ヒロシマへの誓い ～サーロー節子とともに～	78人



映画の前に平和の旅を報告する学生

映画の前に平和へのメッセージを書いていた学生

企画委員が司会を務めました

島守の塔 上映会

沖縄戦末期、沖縄県知事として赴任した、神戸市出身の島田毅(しまだあきら)と、県民の保護に尽力した警察部長 荒井退造。2人とそれを取り巻く、沖縄の人々の物語。映画会をコープ委員会などが主催。16か所で開催され約400人の参加がありました。この映画のDVDは、2026年度も貸出しています。



平和を
ひろげる

各地区での取り組み



バスで行く防災学習会(2地区)



中学校で開催された「地球のステージ」(3地区)



マリルイズさん平和講演会(4地区)



「島守の塔」映画上映会

被爆者
のために

被爆者の治療用医療機器購入費として、毎年、広島と長崎の原爆病院に寄贈しています。



広島・長崎の原爆病院への寄贈。そのほか、次世代へつなげる平和活動に活用しています。

その想いを平和につなげます。

平和のカンパ

8月

用途 平和を学ぶ、平和を考える、平和を願う、平和な世界をつくる活動に活用

2025年度募金額

525万8090円